

「ケース教材の試運転」の開催について

拝啓 時下ますますご清栄のことと存じます。日頃から、本学の大学院教育・研究にご協力いただきましてありがとうございます。

下記の通り、「ケース教材の試運転」を開催しますので、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

今回は、本学大学院社会福祉学専攻（通信課程）の院生が作成した 2 ケースを試運転します。いずれのケースも力作です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬 具

記

1)目的

- ①ケースの試運転を通して、ケース教材とティーチングノートをブラッシュアップする。
- ②討論の運営方法を学ぶ。

2)開催日時:2023 年 12 月 8 日(金) 18:30~21:00

3)開催方法: Web 会議システム Zoom によるオンライン開講

Zoom のアドレスは前日までに e-mail にて送信します。

4)タイムスケジュール

18:30-18:50	オリエンテーション、自己紹介
18:50-19:50	ケース教材 1 試運転 (45 分)・フィードバック (15 分)
19:50-20:00	休 憩
20:00-21:00	ケース教材 2 試運転 (45 分)・フィードバック (15 分)

5)使用するケース教材

「緊急時に現れたモンスター ～コロナウイルス感染拡大時の精神科病棟～」と、「新たな多職種チーム 山田の悩み『メンバーが生き生きと働けるチームを作りたい!』」です。ケース提供者は、大学院社会福祉学専攻（通信課程）の院生です。

6)内容と進め方

ケースは討論型授業で使用されることによりはじめてその価値が発生します。ケースは授業で使用する前に、試してみることが重要になります。これを「ケース教材の試運転」といいます。試運転では、ケースが学びを促進させるツールとなっているかどうか、開発者の意図した通りに展開するかどうかを確認します。さらに、ディスカッションリードの経験や討論に協力することで、討論の運営方法を学びます。

意見交換では、ティーチングノートを公開し、次の4点について意見交換をします。

- ①ケース開発者の教育主題、討論のねらい
- ②参加者からみたケースの討議のしやすさ、難しさ
- ③ディスカッションリーダーからみた討論のしやすさ、難しさ
- ④討論の運営方法

※ケース教材は、試運転後に回収します。

7)事前準備

申し込みされた方には、試運転で使用するケース教材と課題シートを、2023年12月1日(金)を目途に配信させていただきます。事前にケース教材を読んだ上で、ご参加ください。

8)参加申し込み方法

準備の都合上、試運転の参加を希望される方は **11月28日(火)**までに、以下の項目について明記のうえ、名古屋事務室宛にE-Mailにてご連絡下さい。

- 1) お名前
- 2) 連絡先 (郵便番号・住所・Tel・E-Mail)

【宛先】名古屋事務室 [E-Mail : gp-event@ml.n-fukushi.ac.jp]

9)申し込み・問い合わせ先

〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35 日本福祉大学名古屋キャンパス北館1階
名古屋事務室 (担当: 岩瀬・新村)
Tel (052)242-3050 E-Mail : gp-event@ml.n-fukushi.ac.jp